

営業ロープレの実践的なセルフトレーニングの実現と、AIによる自動採点 クラウド型トレーニングプラットフォーム「AmiVoice® RolePlay」 ～セールストークのスキルアップと管理職・トレーナー層の育成業務のスリム化を支援～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長:鈴木清幸、以下アドバンスト・メディア）は、営業ロールプレイングの実践的なセルフトレーニングの実現と、AIを活用した自動採点により、営業のトークスキル向上を支援するクラウド型トレーニングプラットフォーム「AmiVoice RolePlay（アミボイス ロールプレイ）」を2023年9月22日（金）にリリースします。



The screenshot displays the AmiVoice RolePlay interface. On the left is a dark sidebar with navigation options: 動画一覧, セルフトレーニング, パターン管理, and ログアウト. The main content area shows a video player with a 0:00 / 0:23 duration. Below the video is a '総括コメント' section with a 'コメントする' input field. To the right, a chat log shows three messages with timestamps and roles (受験者, 相手役, 受験者). Each message has a '重要ワード' list with '+5' scores and a '+ 追加' button. The top right of the interface includes a 'manager' profile, '編集内容を保存', and 'キャンセル' buttons. A '2023/04/28 マネージャー' header and '50 / 100 点' score are also visible.

<AI 自動採点システムによる評価詳細画面>

営業ロールプレイングは、営業社員が営業担当者役、管理職やトレーナー層が顧客役などに分かれ、実際の営業シーンを再現し実践力を身につけていく取り組みのことです。しかし、実際の商談で想定されるシーンは多岐にわたり、その全てを研修し営業スキルの向上を図るには多くの時間と労力を必要とするため、営業組織に大きな負担がかかることが課題となっています。

「AmiVoice RolePlay」は、AIを活用することで成果につなげるトレーニングプラットフォームを提供し、セールストークの向上と研修や評価にかかる手間・期間などの育成コスト削減を目的として開発したサービスです。

本サービスは、営業担当者が見本動画内の顧客役に向かって話しかけるため、これまで必要だった相手役が不要となり、いつでも任意のタイミングでセルフトレーニングを行うことが可能です。さらに、一人で「つぶやき練習」よりも、実践的な反復練習ができるため、早期にトークスキルの向上を実現します。

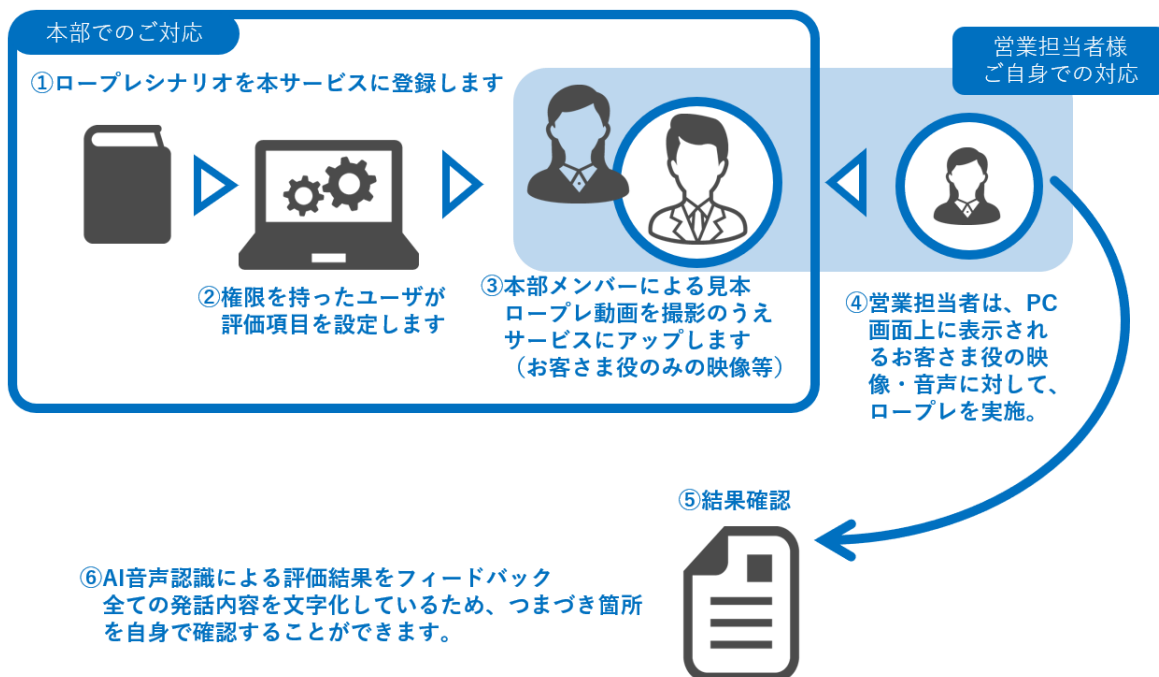
また、事前にAI採点システムにアップロードした見本動画^{※1}を元に、話すスピードが適切であったかなど、あらかじめ設定した審査項目に合わせAIによる採点結果を表示します。AIによる採点のため、採点業務にかかる時間の削減や、評価対象の拡大、評価者や営業拠点ごとにムラのある採点業務の均質化が可能です。

セルフトレーニングの採点結果は定量評価として営業担当者自身が確認でき、学習状況の自己管理を簡単に行うことができます。発話内容は国内シェア No.1^{※2}のAI音声認識 AmiVoice を活用した高精度な音声認識を用いて全文テキスト表示するため、言い間違いの確認や、管理職によるフィードバックを迅速に行うことができます。

さらに、営業優績者の商談録画から話の組み立て方、話す内容などのデータを収集、本サービスに連携することで、優績者の暗黙知をマニュアル化し、短時間で全社に共有できます。これにより、気軽な相談が難しいリモートワーク環境下においてもスムーズな人材育成が可能です。また、定期的なデータ収集により、営業現場における最新のNGワードや不正語法を検出でき、トラブルの未然防止に繋げることができます。

アドバンスド・メディアでは、AI技術によりAIが人をサポートし、より高度かつクリエイティブな業務に人が従事できるAISH（AI Super Humanization）の実現を目指し、今後も新しいソリューションや顧客サービスの提供に力を入れてまいります。

【システムご利用の手順について】



【「AmiVoice RolePlay」の特長】

1. セルフロールプレイングシステムと AI によるフィードバック

見本動画内の顧客役に向かって話すため、これまで必要であった相手役を管理職やトレーナー層が行う必要がなく、いつでもどこでも任意のタイミングでセルフロールプレイングが可能です。さらに AI を用いて実践的な反復練習ができるため、スピーディーな話法の習得を実現します。

2. AI による自動採点で検定業務をスリム化。定量的な評価を可能に

シナリオ通りに話せていたか、笑顔がキープできていたか、話すスピードが適切だったかなど、あらかじめ設定した審査項目に合わせて AI による採点結果を表示します。発話内容を全てテキスト化するため、どこで間違っていたかなど、上位者によるフィードバックが容易になります。

| 項目 | 得点 | 判定回数上限 |
|----------------|----|--------|
| 『基本』あいさつ | +5 | x 1 |
| 『来店』あいさつ | +5 | x 1 |
| 自己紹介 | +5 | x 1 |
| 『保険～イメージ』ヒアリング | +5 | x 1 |
| 『予算～設計』ヒアリング | +5 | x 1 |
| 『将来～大事』ヒアリング | +5 | x 1 |
| 『プラン～提案』提案 | +5 | x 1 |

3. 優績者のトークを収集し、マニュアル化。営業の生きた話法を即展開

優績者の話の組み立て方、話す内容などを収集し活用。音声認識によるテキスト化で内容や話すスピードなどを容易に分析できます。優績者の暗黙知をマニュアル化し共有することで、リモートワーク環境下においても実践的なトークスキルを受け継ぐことが可能です。

■ 「AmiVoice RolePlay」製品ページ

<https://www.advanced-media.co.jp/products/service/amivoice-roleplay>

※1 動画撮影は Temas/zoom などの録画映像でも可能

※2 出典：ecarlate「音声認識市場動向 2023」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

以上

■ アドバンスト・メディアについて

代表者：代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本社：東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

URL：<https://www.advanced-media.co.jp/>

設立：1997年12月

資本金 : 69億3031万円 (18,392,724株) (2023年3月末現在)

事業内容 : ◆AmiVoiceを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoiceを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997年に設立。Interactive Systems, Inc. (米国) と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場 (現: グロース市場) に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI (Human Communication Integration) の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1 (出典: ecarlate 「音声認識市場動向 2023」) の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

<https://www.advanced-media.co.jp/>

【本件のお問い合わせ】

| 報道関係 | お客さま |
|---|--|
| 経営推進本部 広報チーム ・ E-mail : press@advanced-media.co.jp ・ TEL : 03-5958-1307 | SDX 事業部 ・ E-mail : info@advanced-media.co.jp |